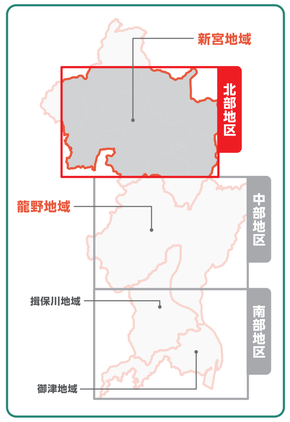
保存版
2025
いつも目の届く場所に置いておきましょう。

たつの市

内水 北部地区 ハザードマップ

Tatsuno-City Inland Flooding Hazard Map



目次

内水ハザードマップとは
適切な避難行動①
適切な避難行動②
大雨時に発表される避難情報
防災情報の入手先や連絡先
日ごろからの備え
わが家の防災メモ

洪水・土砂災害・高潮・津波
ハザードマップはこちらで確認できます。

たつの市 防災マップ

たつの市Webガイド
ハザードマップ

安全な避難のために確認しましょう

たつの市 TATSUNO CITY
お問い合わせ たつの市役所（令和7年3月発行） TEL:0791-64-3131（代表）
〒679-4192 たつの市龍野町富永1005-1 TEL:0791-64-3170（下水道施設課直通）

内水ハザードマップとは

内水ハザードマップとは

令和3年5月の水防法（昭和24年法律第193号）改正に伴い、1年間に1,000分の1の確率で発生する「想定最大規模降雨」に基づく内水氾濫の浸水想定区域を公表することが求められるようになりました。この内水ハザードマップは、市街地で降った雨水が下水道、水路や道路側溝などで排水しきれずにあふれた場合に発生する「内水氾濫」の浸水範囲や深さを示しています。

このマップを活用し、浸水の可能性や避難所などを確認し、大雨による災害に備えましょう。

ハザードマップの活用方法

雨の降り方に応じて内水ハザードマップと洪水ハザードマップを使い分けましょう。

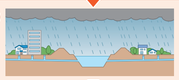
① 通常は

河川や水路は水を流すばかりではなく、潤いのある街や生き物を育む、無くてはならない存在です。

日ごろから内水・洪水ハザードマップを確認!

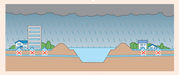
② 雨が降り出すと

徐々に河川や水路の水位が上がり始めます。小規模な水路ではあふれる場合があります。



③ 雨が強く降り続くと

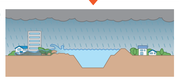
河川の水位上昇により、水路は排水不良となり、低い土地などでは浸水（内水氾濫）が発生するおそれがあります。排水ポンプ場の能力を超えた流量になると、更に浸水の危険性は高まります。



雨が降り出したらまずは内水ハザードマップを確認!
雨が強く降り続いて河川の水位上昇が予想されるようになったら洪水ハザードマップを確認!

④ 更に雨が激しく降り続くと

河川や水路があふれたり、河川堤防が決壊するなどの大きな浸水（外水氾濫）が発生するおそれがあります。



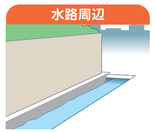
河川が氾濫するおそれがあるときは洪水ハザードマップを確認!

たつの市では内水氾濫のほかに洪水・土砂災害・高潮・津波・ため池ハザードマップがありますので、併せて確認しましょう。

危険箇所に注意

内水氾濫が起こった時は、水路周辺やアンダーパスには近寄らないようにしましょう。また車での避難はせず、徒歩での移動を心がけてください。道路の冠水により車のエンジンが停止したり、ドアが開かないなど車内から出られないことがあります。

水路周辺



アンダーパス

車の運転

適切な避難行動①

避難行動の種類

避難行動には、以下のような種類があります。状況に応じて、適切な避難行動をとりましょう。

自宅の外への避難［立退き避難］

以下の場所に住んでいる場合は、早めに避難しましょう。

- 土砂災害警戒区域内
- 想定される浸水の深さより低い場所

水平避難

自宅に待機［屋内安全確保］

想定される浸水の深さより高い場所に避難できる建物に住んでおり、備え（水、食料など）ができている場合。

垂直避難

逃げ遅れたら

緊急安全確保※

少しでも高い場所や、がけから離れた場所へ移動する。

※緊急安全確保は、災害が発生・切迫した段階での行動です。やむを得ず立退き避難ができず、避難し遅れた居住者などがとる次善の行動です。そのため、本行動を安全にとることができるとは限らず、また本行動をとったとしても身の安全を確保できるとは限らないので、早めの避難行動を心がけましょう。

分散避難

避難場所の密集を避けるためにも、状況に応じた「分散避難」という取り組みも重要になっています。

① 自宅に留まる

- 自宅が洪水・土砂災害の危険性が低い。
- 想定される浸水の深さよりも高い場所に避難できる。
- マンションなどの上層階に住んでいる。

→ 屋内安全確保
自宅内の安全な場所へ移動。

② 親戚・知人宅などへ避難

- 親戚・知人宅などが洪水・土砂災害などの危険性が低い。
- 避難できる親戚・知人宅などがある。

→ 親戚・知人宅などに身を寄せる
親戚・知人などには日ごろから相談しておきましょう。

③ 避難所への避難

- 自宅が洪水・土砂災害の危険性が高い。
- 避難できる親戚・知人宅などがない。

→ たつの市が開設した避難所へ

適切な避難行動②

避難時の心得

動きやすい服装で、必要最小限の荷物で避難しましょう。

歩きやすい「はき物」をはきましょう。長靴は、水が入ると重くなるのでやめましょう。

歩いて避難できる深さは、ひざ下程度といわれています。ただし、流れによっては足をすくわれる危険性があります。

地面が見えにくくなり、マンホールや水路などに落ちてしまう危険性があります。棒を使い、足元に注意して歩きましょう。

夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しましょう。

子どもやお年寄りの避難を手助けしましょう。（早めの避難が大切です。）

避難所の種類

指定避難所などは、災害種別ごとに指定しています。避難所の開設状況については市のホームページなどで確認しましょう。

避難場所とは … 切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所です。

一時避難場所	災害の危険が切迫した緊急時に、安全が確保される一時的に避難する場所。

避難所とは … 災害により住宅を失った場合において、一定期間避難生活をする施設です。

指定避難所	災害の危険から安全を確保するため避難する場所であり、被災者が生活再建までの間、避難生活を送るための場所。
二次指定避難所	指定避難所に入りきれないとき、一時的に避難する場所。
福祉避難所	高齢者や障がい者などの要配慮者が避難所生活を送れる機能を持った避難場所。
災害協定締結事業所（避難所）	災害協定に基づく大規模災害時に利用可能な避難所。

大雨時に発表される避難情報

避難情報と警戒レベル

大雨時には、さまざまな機関から避難情報が発表されます。発表される情報を正しく理解し、とるべき行動に結びつけ、危険から身を守りましょう。

高 災害発生の危険度 低	警戒レベル	避難情報		とるべき避難行動
	警戒レベル5	【市が発令】 緊急安全確保	【気象庁が発表】 大雨特別警報/氾濫発生情報	命の危険 直ちに安全確保! すでに災害が発生している状況 命を守るための最善の行動を!!
	警戒レベル4 [避難指示]までに必ず避難			
	警戒レベル4 危険な場所から全員避難	【市が発令】 避難指示	【気象庁が発表】 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報※/高潮特別警報	すみやかに安全な場所へ全員避難! 移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難!
	警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難	【市が発令】 高齢者等避難	【気象庁が発表】 大雨警報/洪水警報 氾濫警戒情報 高潮警報	避難に時間のかかる 高齢者 障がい者 乳幼児 妊婦 の方などと、その支援者は避難! その他の方は、避難準備!
	警戒レベル2	【気象庁が発表】 大雨注意報/洪水注意報/高潮注意報		自らの避難行動を確認!
	警戒レベル1	【気象庁が発表】 早期注意情報		災害への心構えを高める!

※高潮に関する避難指示は、台風の接近により急激に潮位が上昇する場合が多いことから、高齢者等避難の基準を満たした時点で検討します。

この雨大丈夫?そんな時は気象庁ホームページ『キキクル』で確認!

危険度を5段階に色分けして表示

危険度	
災害切迫	［警戒レベル5相当］
危険	［警戒レベル4相当］
警戒	［警戒レベル3相当］
注意	［警戒レベル2相当］
今後の情報等に留意	

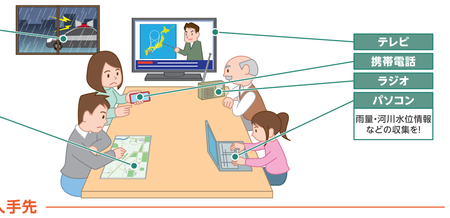
キキクルとは、雨による災害の危険度を地図上でリアルタイムに確認できる情報です。雨による災害の危険度は10分ごとに更新されます。

雨の強さと降り方

1時間降雨量	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm以上
雨の強さ	やや強い	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人への影響	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	どしゃ降りで、傘をさしていてもぬれる。	バケツをひっくり返したように降り、傘をさしていてもぬれる。	滝のようにゴーゴーと降り続き、傘は全く役に立たなくなる。	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
屋外の様子	地面一面に水たまりができる。		道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり視界が悪くなる。	
車に乗っていると		ワイパーを速くしても見づらい。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）。	車の運転は危険。	

防災情報の入手先や連絡先

大雨時は、自ら情報収集する意識が大切です。事前に情報収集し、災害に備えましょう。



防災情報の入手先

災害に関する情報は、市民の皆様が自分で入手することも可能です。インターネットで公開されている情報も活用しましょう。携帯電話をお持ちの方は、QRコードからホームページアドレスを読み込むことも可能です。

たつの市ホームページ 防災マップをWeb上で閲覧できます。	**たつの防災防犯ネット** 災害時には市の緊急情報が掲載されます。	**たつの市Webガイド** 市の公共施設のマップが確認できます。
兵庫県防災(気象)情報 県内の災害情報が確認できます。	**神戸地方気象台** 気象台の発表する気象情報が確認できます。	**川の防災情報** 河川の水位情報が確認できます。
兵庫県地域別土砂災害危険度 県内の土砂災害警戒情報が確認できます。	**兵庫県C.G.ハザードマップ** 兵庫県のハザードマップが確認できます。	**ひょうご防災ネット** Hyogo Emergency Net 県内の緊急情報が日本語や外国語で確認できます。
全国避難所ガイド 避難所検索や防災情報通知、防災行政無線の内容を確認できるアプリです。	iOS / Android	**防災行政無線電話自動応答サービス** 防災行政無線の放送内容を確認できます。 TEL:0791-63-5454

関係機関の連絡先

たつの市本庁・支所など	電話番号
たつの市役所	0791-64-3131
新宮総合支所	0791-75-0251
揖保川総合支所	0791-72-2525
御津総合支所	079-322-1001
室津出張所	079-324-0001

ライフライン	電話番号
関西電力送配電㈱	0800-777-3081
ガス（契約会社: ）	
たつの市上水道課	0791-64-3173
揖龍高原広域事務組合 上下水道事業所	0791-58-0001
西播磨水道企業団	0791-22-7231
NTT（電話の故障）	113 または 0120-444-113

警察	電話番号
緊急	110
たつの警察署	0791-63-0110

消防	電話番号
緊急	119
西はりま消防組合消防本部	0791-76-7119
たつの消防署	0791-64-3212
たつの消防署 新宮分署	0791-75-1119
たつの消防署 光都分署	0791-58-0119
たつの消防署 揖保川出張所	0791-72-2900
たつの消防署 御津出張所	079-322-3618

日ごろからの備え

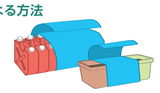
家庭でできる浸水対策

● ごみ袋による簡易水のうの方法

大きめのごみ袋を二重にし、中に半分程度の水を入れてしばります。ダンボールに入れることにより、積み重ねることもできます。

● レジャーシートによる方法

土を入れたプランターを並べ、シートで巻き込んで補強します。水を入れたポリタンクを並べて使うこともできます。



● 止水板による方法

ごみ袋で作った簡易水のうと長めの板を組み合わせ、出入口などに設置します。

● 排水口からの浸水防止

水のうなどを排水口の上に置くことにより、逆流などの浸水を防ぐことができます。

地域での防災

地域で助け合いましょう

身体が不自由な人、お年寄り、子ども、妊婦、外国人などは、災害時の避難行動が遅れがちになります。地域で協力し、助け合いましょう。

肢体不自由な人 耳が不自由な人 目が不自由な人

防災訓練に参加しましょう

自主防災組織は、「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、自主的に運営して防災活動を行う組織です。自治会などを中心に結成されています。お住まいの地域に自主防災組織があれば、積極的に活動に参加し、地域で防災活動に取り組みましょう。

非常持出品・備蓄品

非常持出品

- □ 飲料水
- □ 携行食（ビスケット・チョコレート・栄養補助食品など）
- □ トイレットペーパー・ティッシュ・ウェットティッシュ
- □ 携帯ラジオ・懐中電灯・乾電池
- □ 保険証のコピー・メモ用紙・筆記用具
- □ 現金（小銭を用意）
- □ ビニール袋・ポリ袋
- □ タオル・下着・靴下
- □ 万能ナイフ
- □ 食品包装用ラップ
- □ 処方薬・常備薬・お薬手帳
- □ 衛生用品・生理用品
- □ マスク・体温計
- □ 携帯電話・充電器
- □ 通勤・通学圏内が分かる地図

非常備蓄品

備蓄品は最低3日分は用意しましょう。

- □ 飲料水（1人9L）(3日分)
- □ 非常食（アルファ米、レトルト食品など）(3日分)
- □ 非常用給水袋
- □ 携帯コンロ、ガスボンベ
- □ ラップ、アルミホイル
- □ 衛生用品
- □ マスク・体温計
- □ 雨具
- □ 使い捨てカイロ
- □ 乾電池

災害用に備蓄するのではなく、普段から食材や加工品を多めに買い、古いものから順に消費していくことをローリングストック法といいます。備蓄品の鮮度を保つだけでなく、いざという時に日常生活と近い食事ができます。

ローリングストック法

わが家の防災メモ

計画的な避難行動、緊急的な避難行動

❶ 避難先を記入しましょう。

避難先1	避難先2	避難先3
安全な自宅・親戚・知人宅・職場など	たつの市が指定する避難所	緊急安全確保を行う場所

❷ 避難を開始するまでに何をするかを考えましょう。

やることに☑

情報収集
- □ 気象情報・避難情報を確認

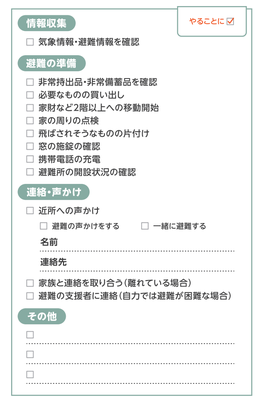
避難の準備
- □ 非常持出品・非常備蓄品を確認
- □ 必要なものの買い出し
- □ 家財など2階以上への移動開始
- □ 家の周りの点検
- □ 飛ばされそうなものの片付け
- □ 窓の施錠の確認
- □ 携帯電話の充電
- □ 避難所の開設状況の確認

連絡・声かけ
- □ 近所への声かけ
  - □ 避難の声かけをする □ 一緒に避難する
  - 名前
  - 連絡先
- □ 家族と連絡を取り合う（離れている場合）
- □ 避難の支援者に連絡（自力では避難が困難な場合）

その他
- □
- □
- □

❸ 警戒レベルごとに、❶で記入した避難先への避難、❷で確認した事前準備をどのタイミングで行うかを記入しましょう。

※避難の状況により、必ずしも警戒レベルの順で情報が発表されるとは限りません。状況に応じた柔軟な対応を心掛けましょう。



災害用伝言ダイヤル（171）

災害用伝言ダイヤル（171）は、災害時にNTTより提供される「声の伝言板」です。使用方法を知っておきましょう。
（※サービス開始は、テレビ・ラジオなどで通知されます。）

※災害時、緊急でない電話はなるべく控えましょう。

伝言の録音
1 7 1 ▶ 1 ▶ 被災した家の電話番号 ▶
ガイダンス（説明）がながれます。
被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。
伝言を入れる（30秒以内）

伝言の再生
1 7 1 ▶ 2 ▶ 被災した家の電話番号 ▶
ガイダンス（説明）がながれます。
被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からプッシュする。
伝言を聞く

体験利用ができる期間

毎月1日と15日 0:00～24:00	正月三が日 1月1日 0:00～1月3日 24:00	防災週間 8月30日 9:00～9月5日 17:00	防災とボランティア週間 1月15日 9:00～1月21日 17:00